

は

世 界 史 B 問 題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 18 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

中国では官僚機構を中心とした統治制度が発達し、それは近隣諸国にも影響を与えた。また、制度の変化は社会の変動とかかわって起きることも少なくない。そのため、中国の官僚任用制度や各種統治制度の時代ごとの特徴と、その変化の概要を知ることが、中国やアジアの歴史を理解する上で役立つ。

中国における本格的な官僚機構による支配は、戦国時代からはじまったと考えられている。なかでも秦が法家的な考え方を採用して中央集権化につとめ、国力を高めることに成功し、^(a)始皇帝による統一へといたった。秦でおこなわれた中央集権的な支配体制である郡県制は、^(b)次の統一王朝である漢になると、封建制を併用した郡国制に変わった。しかし、封建諸侯の大反乱である呉楚七国の乱を鎮圧すると、実質的に秦と同様の中央集権体制へと変化した。こののちに即位した漢の武帝のときに、^(c)官僚任用制度の郷举里選がはじまった。この制度は、前漢後半期から社会の中で勢力を強めていた豪族層が、官僚として進出する手段になりつつ、漢王朝の滅亡まで約 300 年にわたりつづいていくこととなる。

漢滅亡後に成立した三国のうち、魏で郷举里選に代わる新たな官僚任用制度として、^(d)九品官人法(九品中正)が実施された。この制度はこれ以降、^(e)魏晋南北朝時代を通じてつづいたが、数世紀ぶりに南北を統一した隋の文帝(楊堅)によって廃止された。その際に新たな官僚任用制度としてはじまったのが科挙であり、これ以降、^(f)中国では基本的に科挙による官僚任用が主流となっていく。

隋のあとに成立した唐では、法体系として を完成させ、土地制度の ，税制である ，兵制として府兵制を施行した。また三省・六部・御史台などの官制が設けられ、^(g)地方では州県制が施行された。これらの諸制度は、^(h)唐の近隣諸国に多大な影響をおよぼした。加えて、⁽ⁱ⁾近隣諸国がこれらの制度を受容する過程で、^(j)漢字などをはじめとする文化も広まり、いわゆる東アジア文化圏を成立させることとなった。

しかし、こうした唐の制度は、8 世紀以降の社会の変動に対応しきれず、^(k)税制・兵制・地方統治など多くの面で変化をせまられた。その社会の変動は、10 世紀における「唐宋変革」とも称される中国史上の大転換期へつながっていくこととなる。^(l)

問 1 下線部(a)について、法家とはいえない人物を一人選びなさい。

- A. 韓非 B. 李斯 C. 商鞅 D. 荀子

問 2 下線部(b)に関連して、秦によって貨幣が統一されたといわれるが、秦が作った貨幣に該当するものを一つ選びなさい。

A.



B.



C.



D.



問 3 下線部(c)に関連して、漢の武帝による外交・外征に関する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

漢の武帝は、北方の騎馬遊牧民の匈奴に対して大規模な軍事攻撃を実施するとともに、^A当時「西域」と称された、タリム盆地周辺のオアシス都市群を支配下におこうとした。^Bまたその一方で、南方の大越を滅ぼしてベトナム北部までを支配下におき、^C東方では衛氏朝鮮を滅ぼして楽浪郡など四郡を設置し、^D領土を拡大した。

問 4 下線部(d)について、この制度が施行されてどのようなことが起こったか。

その説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 異民族が優遇されて政治的に大きな力を持った。
- B. 軍閥が各地に割拠して中央政府の力がおとろえた。
- C. 有力な家柄の出身者が高級官僚を独占した。
- D. 老荘思想に代わり儒学が官学となった。

問 5 下線部(e)の時代の文化について、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 絵画—顧愷之
- B. 書—陶潜(陶淵明)
- C. 文学—王羲之
- D. 仏教—寇謙之

問 6 下線部(f)に関連して、科挙に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 唐では、一時的に周を建てた則天武后が科挙出身官僚を積極的に任用した。
- B. 宋では徽宗のとき、科挙官僚中心の新法党と貴族中心の旧法党が対立した。
- C. 元のフビライ=ハンは、科挙に殿試(皇帝自身による最終試験)を設けた。
- D. 清では乾隆帝のとき、知識人を弾圧するため科挙を一時廃止した。

問 7 空欄(ア)・(イ)・(ウ)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

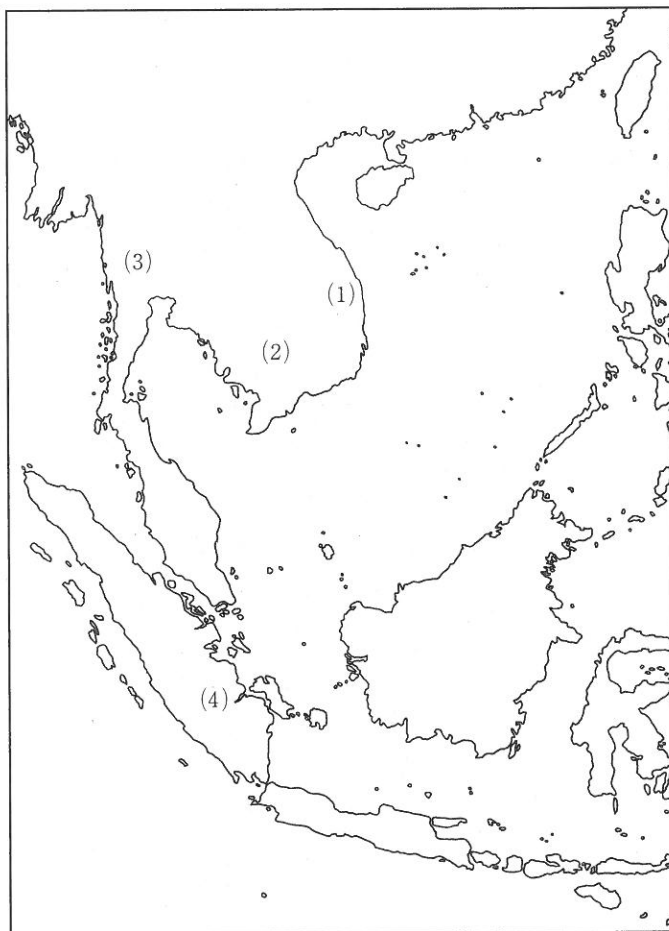
- A. (ア) 租庸調制 (イ) 律・令・格・式 (ウ) 均田制
- B. (ア) 租庸調制 (イ) 均田制 (ウ) 律・令・格・式
- C. (ア) 律・令・格・式 (イ) 均田制 (ウ) 租庸調制
- D. (ア) 律・令・格・式 (イ) 租庸調制 (ウ) 均田制

問 8 下線部(g)に関連して，唐の中央官制に関する説明として，最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 尚書省は詔勅の起草を担当した。
- B. 御史台は祭祀・文教を担当した。
- C. 中書省は政務の執行を担当した。
- D. 門下省は詔勅の審議を担当した。

問 9 下線部(h)に関連して、地図中で7～9世紀頃の東南アジア各国の位置を示すものとして、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A. (1) チャンパー (2) カンボジア
(3) シュリーヴィジャヤ (4) ドヴァーラヴァティ
- B. (1) チャンパー (2) カンボジア
(3) ドヴァーラヴァティ (4) シュリーヴィジャヤ
- C. (1) シュリーヴィジャヤ (2) カンボジア
(3) チャンパー (4) ドヴァーラヴァティ
- D. (1) カンボジア (2) ドヴァーラヴァティ
(3) シュリーヴィジャヤ (4) チャンパー



問10 下線部(i)に関連して、唐の近隣諸国の状況に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 渤海は、都城制など唐の制度を積極的に取り入れた。
- B. 新羅は、唐の官僚制を導入する一方で骨品制を廃止した。
- C. 日本は、唐の洛陽にならった都の平城京を建設した。
- D. 南詔は、唐の冊封を受けたが、制度や文化は受容しなかった。

問11 下線部(j)に関連して、漢字の影響を受けた文字を作っていない国として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 日本
- B. 陳朝
- C. 西夏
- D. 吐蕃

問12 下線部(k)について、府兵制に代わって導入された兵制として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 緑営
- B. 衛所制
- C. 募兵制
- D. 郷勇

問13 下線部(l)に関連して、こののちに成立した宋の状況として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 門閥貴族に代わり新興地主層の佃戸が支配層となった。
- B. 米の主要産地が、長江下流域から中流域に移った。
- C. 経済の発展に伴い、鎮などの地方小都市が生まれた。
- D. 陶磁器産業がさかえ、赤絵の最盛期をむかえた。

〔Ⅱ〕 次の文章(1)・(2)を読み、下記の問いに答えなさい。

- (1) ピサのルスティケッロ(ルスティアーノ)がマルコ・ポーロの話をもとに書いたとされる『世界の記述』(『東方見聞録』)は、13世紀におけるユーラシア各地の政治や社会について、私たち現代人に豊かな資料を提供している。例えば、『世界の記述』には中国の都市が詳細に紹介されており、その一つに以下のような文章がある(月村辰雄・久保田勝一訳『マルコ・ポーロ 東方見聞録』、()は作題者の注)。

「キンセーの町がきわめて大きく(中略)大型の船が下を航行できるほど橋桁の高い石造の橋が1万2000もある。この橋の数を驚くには当たらないのであって、町は水の上に建設され、しかも水に囲まれているから、町のどこに行くにも多くの橋が必要となるのだ。(中略)偶像崇拜の僧院や教会も多くまじる。(中略)キンセーの町の中には、逃げ去った以前のマンジ王(南宋皇帝)の宮殿もある。」(都市①)

また、以下のような記述も見られる。

「サルコンの港には、インドからやって来る船がかならず立ち寄り、香料類や各種の貴重な商品をもたらすので、マンジ地方のあらゆる商人も買い付けにやって来る。莫大な量の商品や宝石類、それに真珠などが集められた有様は壮観で、それらが今度はこの港からマンジ地方に送り出される。私は皆さまに申し上げておくが、キリスト教国のために胡椒を積んだ船が (ア) の港によく1艘やって来るとしたら、このサルコンの港には100艘以上の船がやって来るといっても過言ではない。したがって、大カーンがこの港から得る税収も莫大である。」(都市②)

このような『世界の記述』をはじめとするヨーロッパの資料は、中国の資料と比較検討されながら、ユーラシア東方の研究に生かされてきたのである。

問 1 都市①・②が説明する都市の組み合わせとして、最も適切なものを一つ
選びなさい。

- A. ① 南京 ② 寧波
- B. ① 南京 ② 泉州
- C. ① 杭州 ② 寧波
- D. ① 杭州 ② 泉州

問 2 下線部(a)に関連して、マルコ=ポーロの出身地とされ、第4回十字軍を
きっかけとしてその後東方貿易が盛んになったイタリアの都市はどこか。

問 3 下線部(b)に関連して、都市①を通る大運河と黄河の接点付近に位置する
都市は、水路を通じた商業網の中核となった。この都市の繁栄を描いたと
される 12 世紀の絵画は何か。

問 4 下線部(c)に関連して、13 世紀中国における宗教についての説明とし
て、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 全真教が江南で盛んになった。
- B. イスラーム寺院が広州に建てられた。
- C. 禅宗が士大夫の間で流行した。
- D. 白蓮教が邪教として禁圧された。

問 5 下線部(d)に関連して、13 世紀インドに成立した最初のイスラーム王朝
は何と呼ばれるか。

問 6 空欄(ア)は大規模な港市である。かつて「世界の結び目」とも呼ばれたこの
都市はどこか。

問 7 下線部(e)に関連して、13 世紀中国において輸入税を管理した機関は何
か。

(2) 『世界の記述』は、筆写や翻訳を繰り返してヨーロッパに広まり、ユーラシア東方に対する人びとの関心を喚起した。加えて、香辛料をはじめとするアジア^(f)産品への需要が高まると、ユーラシア東方との直接取引に期待がかかった。折しも、13～16世紀にかけてエジプトを支配した (イ) 朝や、15世紀に地中海で勢力を拡大したオスマン朝などのイスラーム勢力によって、ヨーロッパがユーラシア東方と直接交渉する道は閉ざされていたのである。その結果、ヨーロッパの人びとが自らアジアに向かう、さまざまな航海ルートが開拓されることとなった。

17～18世紀になると、布教のために中国に滞在した宣教師たちが伝える情報^(g)もまた、キリスト教世界に影響をおよぼした。フランスでは、中国の官僚任用の合理性や儒教思想^(h)が、啓蒙思想家に評価され、自国の絶対王政を批判するために利用された。同じ頃、中国的なデザインがシノワズリとして流行し、デルフトやマイセン等で焼かれたヨーロッパの陶磁器⁽ⁱ⁾にも東方的なデザインが見られるようになっていた。

問 8 下線部(f)に関連して、アジアからヨーロッパにもたらされたものとして、適切でないものを一つ選びなさい。

- | | |
|-------|-----------|
| A. 綿布 | B. 砂糖 |
| C. 絹 | D. トウモロコシ |

問 9 空欄(イ)に最も適切な語句を入れなさい。

問10 下線部(g)に関連して、中国における布教の方法の問題点がローマ教皇へ告発され、清朝におけるキリスト教布教禁止を招いた論争は何と呼ばれるか。

問11 下線部(h)に関連して、当時のヨーロッパに伝わった儒教の經典解釈では、「理」が重視されていた。この「理」を重視した南宋の思想家は誰か。

問12 下線部(i)に関連して、中国陶磁器の流通に関する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 飲茶の習慣の広まりとともに中国で陶磁器の生産が拡大した。
- B. 明朝は長期にわたり民間人による陶磁器貿易を禁止した。
- C. 中国で開発されたダウ船は、遠洋航海で陶磁器の運搬に用いられた。
- D. カーリミー商人は、11～15世紀頃に海上貿易で陶磁器を運んだ。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

教皇を頂点とするローマ＝カトリック教会の権威がゆらぐなか、14世紀以降のウィクリフやフスなどによる教会刷新の動きは、異端として弾圧され、失敗に^(a)帰した。しかし16世紀前半にはじまる宗教改革は、神聖ローマ帝国内の諸侯や都市の支持を得て、カトリック(旧教徒)とは異なるプロテスタント(新教徒)の誕生をもたらした。

ルネサンス文化の中心の一つとなったローマでは、聖ピエトロ大聖堂の改築が^(b)計画され、教皇レオ10世は、その費用の捻出のために贖宥状をドイツで販売した。この販売に疑問を抱いたヴィッテンベルク大学教授のマルティン・ルター^(c)は、1517年に『九十五カ条の論題』を発表してローマ＝カトリック教会を批判した。これによって、宗教改革の口火が切られ、この運動はたちまち西ヨーロッパの各地に波及していった。

ドイツでは、ルターを支持する新教派の諸侯と都市が 同盟を結成して、皇帝カール5世の率いる旧教派と争ったが、1555年アウクスブルクの宗教和議で妥協が成立した。この和議によって諸侯は、カトリックかルター派いずれかを選択することが認められた。スイスでは、都市を基盤にして宗教改革が展開された。ツヴィングリがチューリヒで、その後カルヴァンがジュネーヴで独自の改革に着手した。とくにカルヴァンは、司教制を廃止し、長老制にもとづく厳格な神権政治をおこなった。

イギリスでは、チューダー王朝の国王^(d)ヘンリ8世が、1534年、ローマ教皇と絶縁してイギリス国教会を創設した。また、エリザベス1世は、1559年に統一法によって国教会を再建し、その後1588年には で旧教国スペインと戦い、その無敵艦隊を打ち破った。

また、スペイン国王^(e)フェリペ2世は領土内の旧教以外の信仰を弾圧したため、ネーデルラントで新教徒の反乱をまねいた。この地方の北部7州は、 を指導者として頑強に抵抗し、1598年にはブルボン王朝の が発布したナントの勅令によって信仰の自由が認められた。17世紀に入ると、ベーメン(ボヘミア)地方の争乱をきっかけとして三十年戦争が勃発したが、結局1648年

のウェストファリア条約によって講和が締結され、主権国家体制の基盤が法的に^(f)も確立された。

宗教改革運動の高まりを目の当たりにして、ローマ＝カトリック教会も、16世紀半ばからイタリアとスペインを中心に自己改革の運動に着手した。この運動は、対抗宗教改革として知られている。1534年にはイエズス会が創設され、カトリックの勢力を回復・強化させていった。^(g)また、イエズス会の布教活動は、遠くアジアやアメリカ大陸にまでおよんだ。その一方、1545年からトリエント公会議が^(h)はじまった。

こうした一連のヨーロッパ諸国における宗教改革運動は、その後の主権国家体制の形成につながる動きであっただけでなく、大航海時代の植民活動や交易とも⁽ⁱ⁾密接なつながりをもっていたのであった。

問 1 下線部(a)に関連する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. ウィクリフは聖書を信仰のよりどころとして、教会の世俗化を批判した。
- B. ウィクリフは聖書のフランス語訳を完成させた。
- C. フスはコンスタンツ公会議で異端とされ、処刑された。
- D. ベーメンでは、フス派の人々の反乱が10年以上にわたってつづいた。

問 2 下線部(b)に関連して、イタリアのルネサンス期に活躍した建築家はだれか。最も適切な人物を一人選びなさい。

- A. ボッティチェリ
- B. マキャベリ
- C. ボッカチオ
- D. ブルネレスキ

問 3 下線部(c)に関連する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. ローマ皇帝カール5世は、ヴォルムス帝国議会でルターの教えの撤回を求めた。
- B. 1520年に『キリスト者の自由』を著し、信仰義認説を主張した。
- C. ブランデンブルク伯の保護のもと、『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。
- D. ルターの教えに触発されて、大規模なドイツ農民戦争が起こった。

問 4 空欄(ア)に入る最も適切な語句を一つ選びなさい。

- A. シュマルカルデン
- B. ユトレヒト
- C. カルマル
- D. ロンバルディア

問 5 下線部(d)に関連する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 王妃との離婚問題でローマ教皇と対立した。
- B. 国王至上法で、国王がイギリス国内の教会の首長であると宣言した。
- C. イギリス国教会の一般祈祷書を制定した。
- D. 修道院を解散し、その土地や財産を没収した。

問 6 空欄(イ)に入る最も適切な語句を一つ選びなさい。

- A. プレヴェザの海戦
- B. アルマダの海戦
- C. トラファルガーの海戦
- D. アクティウムの海戦

問 7 下線部(e)に関連する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. オーストリアの王位を兼ね、その同君連合は1640年までつづいた。
- B. スペインのハプスブルク家を相続した。
- C. 1571年のレパントの海戦で、オスマン帝国の海軍を破った。
- D. フェリペ2世のもとで、スペインは「太陽の沈まぬ帝国」となった。

問 8 空欄(ウ)に入る最も適切な人物を一人選びなさい。

- A. ヴァレンシュタイン
- B. オラニエ公ウィレム
- C. チャールズ 1 世
- D. グスタフ＝アドルフ

問 9 空欄(ニ)に入る最も適切な人物を一人選びなさい。

- A. シャルル 9 世
- B. ルイ 14 世
- C. ルイ 13 世
- D. アンリ 4 世

問10 下線部(f)に関連する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 神聖ローマ帝国は力を増し、ドイツ諸侯の独立性は弱まった。
- B. フランスはブルターニュなどを取得して領土を広げた。
- C. デンマークはバルト海の覇権を確立した。
- D. スイスとオランダは独立を正式に承認された。

問11 下線部(g)に関連して、イエズス会士でない人物を一人選びなさい。

- A. イグナティウス＝ロヨラ
- B. マテオ＝リッチ
- C. アダム＝シャルル
- D. プラノ＝カルピニ

問12 下線部(h)に関連する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 会期は中断をはさんで 30 年近くにおよんだ。
- B. 禁書目録が作成された。
- C. 教皇の至上権とカトリックの教義が再確認された。
- D. 異端に対する宗教裁判が強化された。

問13 下線部(i)に関連して、この時代の出来事を古い順に並べたものとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- (あ) ピサロはペルーのインカ帝国を征服した。
- (い) コロンブスはカリブ海のサンサルバドル島に到着した。
- (う) コルテスはメキシコのアステカ帝国を征服した。
- (え) ヴァスコ＝ダ＝ガマはインドのカリカットに到着した。

A. (い)→(あ)→(う)→(え)

B. (い)→(え)→(う)→(あ)

C. (え)→(あ)→(い)→(う)

D. (え)→(う)→(あ)→(い)

〔IV〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

18世紀末に起こったフランス革命が「革命的」であるとみなされる理由の一つは、政治、経済、社会、文化といったあらゆる面で、新しい思想と結びついていたことにある。その思想を最もよく反映した成果の一つとして、1789年8月4日に決議された封建的特権の廃止があげられる。これによって、領主裁判権や、農民が教会に納めた は無償で廃止された。つづく8月26日には「人間および市民の権利の宣言」(人権宣言)が採択され、人間の自由・平等、主権在民、所有権の不可侵性を核とする近代社会の原理が示された。その際、人びとを国家と結びつけた「国民」に再編する国民国家の理念が掲げられた。

革命の理念は、ナポレオンの進軍とともにヨーロッパ全土に広まった。その過程で、1806年、ナポレオンを盟主とした西南ドイツ諸邦がライン同盟を結成し、神聖ローマ帝国は消滅した。同じ頃、プロイセンはイエナの戦いで敗北を喫し、ナポレオンのベルリン入城をまねいた。哲学者 がドイツ国民意識を高めるために講演「ドイツ国民に告ぐ」をおこなったのは、仏軍占領下のベルリンにおいてである。1813年、ロシア・オーストリア・プロイセン同盟軍がフランスに勝利した結果、ナポレオンの時代は終わった。

ナポレオン以後のヨーロッパでは、列強間の協調と王政復古を原則としたウィーン体制が成立した。同体制下では、自由主義思想や国民主義運動は厳しく弾圧された。ただし、これらの動きを完全に抑えることはできず、ある歴史家によれば、ウィーン体制が崩壊する1848年までの間に、三度にわたって革命の波が起きたといえる。第一の波は、1820年頃に生じた。ヨーロッパでは、ドイツ人大学生によるブルシェンシャフト運動、イタリアの統一と独立を目指してナポリやピエモンテで起きた秘密結社 の反乱などをあげることができる。やや遅れて1825年にロシアで起こったデカブリストの乱も、この流れの中に位置づけられる。また、ナポレオン時代に本国スペインの支配が弱まった影響で、ラテンアメリカ諸国が相次いで独立し、植民地生まれの白人で大地主層出身のシモン=ボリバルがベネズエラやコロンビアの独立運動を指導した。

第一の波ではほとんどの蜂起が失敗に終わったが、1830年前後の時期に発生

した第二の波では、いくつかの国民国家が生まれた。すでに1821年に独立戦争がはじまっていたギリシアは、1830年に独立を承認された。また、フランスの七月革命の影響を受けてベルギーが (エ) から独立した。一方、この頃起こったワルシャワ蜂起は鎮圧された。

(g)
第三の波は1848年前後に高まった。とくに、フランスの二月革命やウィーン三月革命が勃発し、さらには (オ) の主導の下ハンガリーでも同様の革命が起きたため、ウィーン体制の崩壊をみた。しかし、いずれも巻き返しを図る王権勢力によって制圧された。フランクフルト国民議会主導の下、ドイツ統一を求める動きもみられたが、統一方針の相違などさまざまな理由から実現されなかった。最終的に、1861年のイタリア王国や1871年のドイツ帝国の成立にいたるには、国家統一をめざす勢力が戦争によって旧勢力に勝利する必要があるのである。

問 1 空欄(ア)～(オ)に最も適切な語句を入れなさい。

問 2 下線部(a)について、『百科全書』の編纂に携わった哲学者で、フランス啓蒙思想の代表的人物を二名あげなさい。

問 3 下線部(b)について、このときの戦争は何と呼ばれるか。

問 4 下線部(c)に関連して、1819年にこの運動の禁止を決定した決議は何と呼ばれるか。

問 5 下線部(d)に関連して、デカブリストと交流を持ち、「近代ロシア文学の祖」と呼ばれるロシアの詩人は誰か。

問 6 下線部(e)について、これらの人びとは何と呼ばれるか。

問 7 下線部(f)に関連して、この革命の直前にシャルル 10 世は国民の不満をそらす目的で遠征した。これ以後フランス植民地となり、20 世紀後半に独立した国はどこか。

問 8 下線部(g)に関連して、同時期に『革命のエチュード』を作曲したポーランド出身の音楽家は誰か。